

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	美術概論	
科目基礎情報							
開設学科	グラフィックデザイン科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	角田 知義			実務経験の有無・職種	有・クリエイティブディレクター		
学習目的							
「アートとでデザイン」の関係は、「サイエンスとテクノロジー」の関係に似ていると言われている。美術の全般的な知識を得る事で、デザインへの新たな視点を得る事を学習の目的とする。その為には先ず「美術がどのような視点、観察眼」で作品を作り続けてきたのかという事を知る必要がある。美術作品を観察、読解、技法を理解することから「美しさの創造性」「表現の創造性」への理解を深める方法の取得を目的とする。							
到達目標							
世界四大文明が発祥した時点で美術は存在していた。我々が培って来た文明の中で美術の存在とその役割を知ることは「表現」と「意味」の生成を知る事になり「文明、文化、歴史」への深い理解にも繋がっていく。西洋で価値観が大きく変わるルネッサンス以降、更に社会の構造が大きく変わる近代以降、人々と美術の関係、産業構造が変わるその中でデザインも育ち始める。歴史的な推移のなかで「社会、文化、産業、美術、デザイン」の関わりを西洋と日本からの2つの視点で見る事で「現代の美術とデザインの理解を深める」ことを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	長い歴史を持つ美術、本授業は現代デザインが育ちはじめた19世紀からスタート。よく知られている「印象派」、当時は革命的な出来事だった、私たちが常識として持っている、美術の基本的な概念「美しさ」や「美術らしさ」「見る事への探求心」「意味をかたちづくる」「造形する技術」等、美術とデザインが持つ同じ課題に対して、過去の著名な作家達がいかに「イノベーション」を起こし、新しい創造をしてきたかという事を事例を参照しながら学ぶ。						
	注意点	授業に集中してノートをとることが必要となる。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出する。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。					
評価方法		種別	割合	備 考			
	最終レポート	55%	学期末のレポート、課題を総合的に評価する。				
	中間レポート	20%	授業期間中、デザイン概念の理解促進のための宿題形式のレポート（2回）。				
	振り返りシート	15%	毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ、時間終了時に必ず提出すること。				
	受講態度	10%	出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	美術概論を学ぶ基礎①			ガイダンス、デザインから見た美術 <復習：デザインとアートの関係>、観察力について理解する			
2回	美術概論を学ぶ基礎②			西洋美術を学ぶための基礎知識、歴史と文明と価値観、イメージと実像について理解する			
3回	20世紀、抽象表現とデザイン①			抽象表現の直前、印象派の話からスタート（世界の近代化と美術の役割について理解する）			
4回	20世紀、抽象表現とデザイン②			光との絵の関係 印象派、ポスト印象派、ジャポニスム、写真機、写真の存在について理解する			
5回	20世紀、抽象表現とデザイン③			新しい色との関係 フォービズムについて理解する			
6回	20世紀、抽象表現とデザイン④			新しい対象の捕らえかた キュビズムについて理解する			
7回	20世紀、抽象表現とデザイン⑤			20世紀、新しい時代の表現 構成主義、未来派、シュールリアリズム等について理解する			
8回	20世紀、抽象表現とデザイン⑥			デザインとの接点 抽象表現とバウハウスと表現実験の時代について理解する			
9回	西洋美術史の基礎①			古代美術から「美」の探求、美のルール作りを理解するには・・・			
10回	西洋美術史の基礎②			構図と色彩と透視図法（美術を構成する要素と基準）、ルネサンスの時代について理解する			
11回	西洋美術史の基礎③			イコノロジー（絵を読み解く文法）、中世の美術を知る			
12回	日本の美術の多様さ①			狩野派の華麗さ、殿様のアート、日本の芸道、家元制度について理解する			
13回	日本の美術の多様さ②			葛飾北斎、庶民のメディア・アート、江戸時代の視覚伝達について理解する			
14回	日本の美術の多様さ③			江戸から明治へ、西洋美術との葛藤について理解する			
15回	現代のアートを俯瞰する			ポップカルチャーとは何だったのか？アートとテクノロジーの越境について理解する			